

3価クロムのメッキについて

金属製品のメッキ処理にはほとんどの場合クロムが使用されています。メッキ処理に用いられるクロムは「6価クロム」と「3価クロム」の2種類があります。このうち「6価クロム」は毒性が高く、人体および自然に悪影響があることが指摘されています。さらに、「6価クロム」は排水の処理が難しく、土壌汚染や地下水汚染などの環境問題を引き起こす要因にもなっています。

先進国では、環境への配慮から、この毒性の高い「6価クロム」から「3価クロム」への移行が進められています。

	6 価クロム	3 価クロム
長所	<ul style="list-style-type: none">・ 皮膜の耐酸化性に優れている・ 耐摩耗性に優れている・ 高硬度ミリ単位の厚付けめっきが可能	<ul style="list-style-type: none">・ メッキ液の毒性が比較的少ない・ 排水処理が容易・ 作業中のミスト発生が少ない
短所	<ul style="list-style-type: none">・ メッキ液の毒性が強い・ 排水の管理が難しい・ 皮膜の均一伝性が劣る	<ul style="list-style-type: none">・ 皮膜の耐酸化性がやや劣る・ 薬品が高価・ メッキ液組成の管理が煩雑

HOE I は、「環境への配慮」と「ペットの安全性」を最重要に考え、2005年より自社工場内のメッキ設備を改造し、業界に先駆けて「3価クロム」メッキへの切り替えを進めてきました。これにより、従来よりさらに安心してお使いいただける商品になりました。